

手足の『しびれ』を感じたら

ひとことに『しびれ』と言っても、ジンジン・ピリピリする感覚や、さわった感覚がよく分からないといったものなどさまざまです。また、その原因も多様で、簡単に決めることはできません。以下はしびれの原因としてよく見られる病気です。

- 脳疾患
- 脊椎脊髄疾患
- 末梢神経疾患

治療の必要なしびれもあれば、そうでないものもあります。心あたりの方は、いちど診察を受けることをお勧めします。治療が必要なしびれの場合、早めに治療に取り掛かる方が回復の程度がよい傾向にあります。



せきつい せきずい しかん 脊椎脊髄疾患

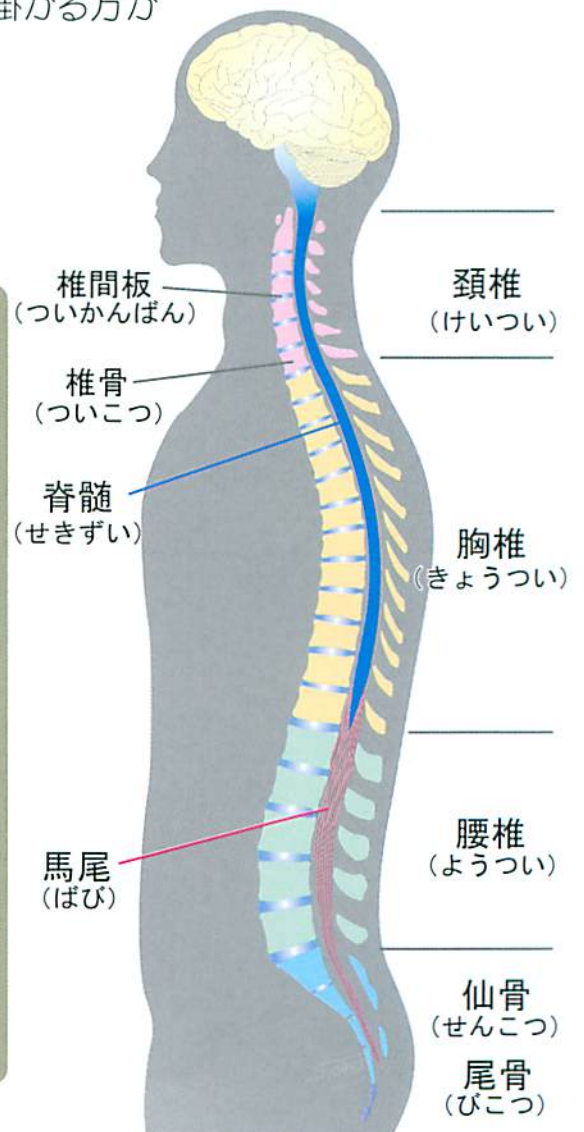
脊椎(せきつい)とはおおよそ背骨のことを言い、多くの骨が椎間板(ついかんばん)というクッションをはさんで、首からお尻までつながったものです。

その中を脊髄(せきずい)と呼ばれる神経がとっています。

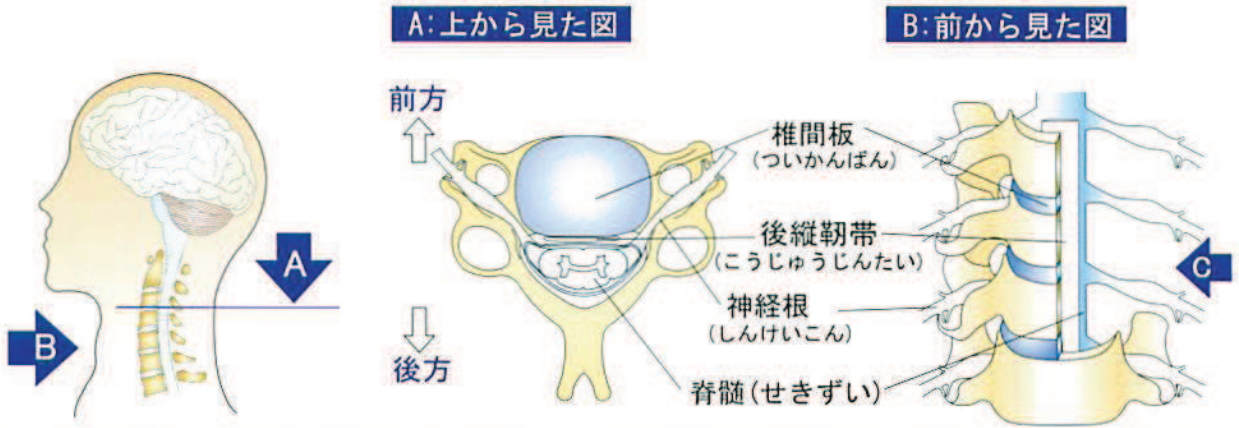
脊椎の首の部分を頸椎(けいつい)、腰の部分を腰椎(ようつい)と呼びます。

脊椎脊髄疾患は、加齢により骨や椎間板などの変形が進み、神経を圧迫することにより多く起こります。

その他にも後縦靭帯骨化症、腫瘍といったものなどありますが、裏面によく見られる頸椎の疾患を解説します。



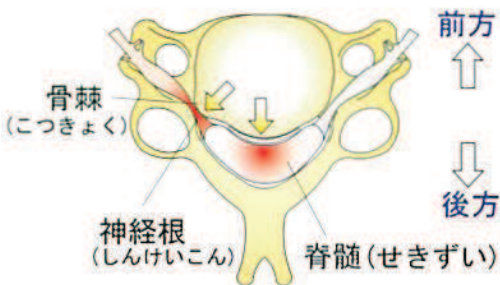
○ 頸椎の構造



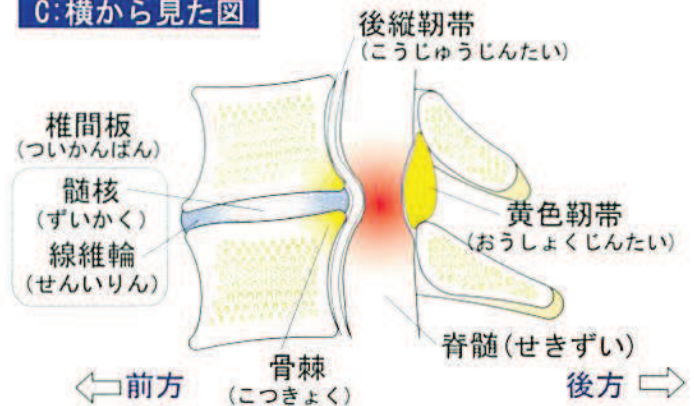
○ 頸椎症 (けいついしょう)

頸椎症は、頸椎の老化変性が原因で引き起こされます。よくみられるのが、骨が加齢により変形して骨棘(こつきよく)という突起ができ、脊髓や脊髓から枝分かれした神経根(しんけいこん)とよばれる神経が圧迫や刺激を受けて、しびれ、痛み、脱力などの症状を発生させるものです。

A: 上から見た図



C: 横から見た図



○ 頸椎椎間板 (けいついついかんばん) ヘルニア

椎間板ヘルニアは、骨と骨の間でクッションの役割をする椎間板の組織がとび出し、脊髓や神経根を圧迫することにより、症状が発生します。老化により、椎間板がもろくなるためですが、若くても、外から強い力が働き、おこることもあります。

C: 横から見た図

